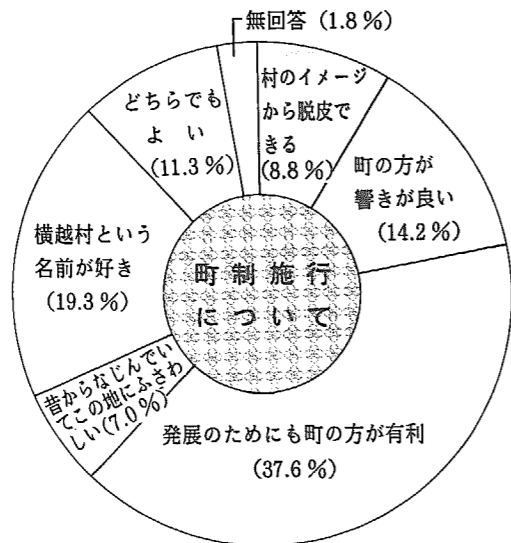


# 町制施行に関する住民意識調査結果 (その1)

## ～ 町制施行に全体の6割が支持 ～



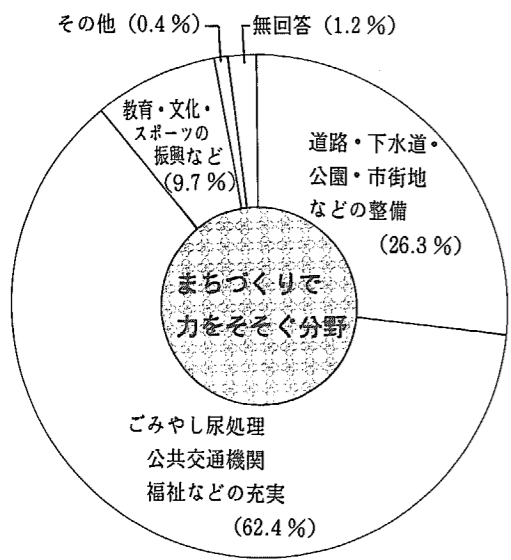
村では、人口の増加や都市化傾向が一段と進む中で、今後のまちづくりのあるべき方向等について広く村民の意向や提案を把握する目的で、住民意識調査を実施しました。この調査は、区長、隣組長を通じて全世帯に七月二十七日に配布し八月十一日に回収いたしました。その結果について、今月より

紹介していく予定にしています。なお、回収結果については次のとおりです。

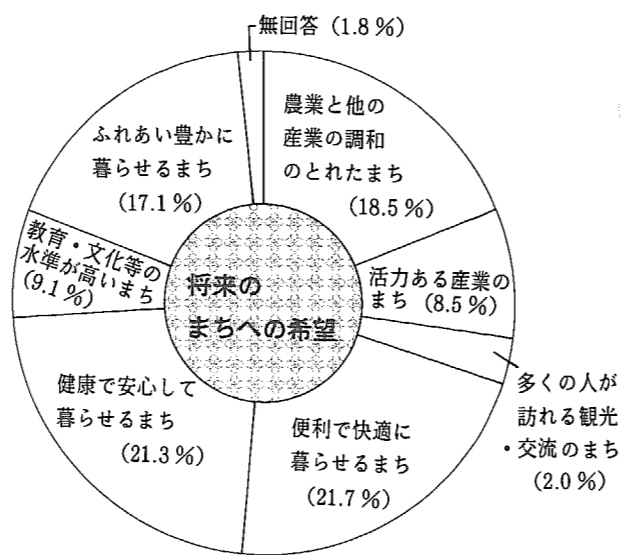
- 有効回収数 二、五三二票
- 配布数 二、三〇六 (回収率 九一・一%)
- 有効回収率 二、二五一票 (有効回収率八八・九%)
- 無効票 五五票

横越村を「横越町」とすることについては、「将来の発展のためにも村より町の方が有利」とする回答が37.6%と最も多く第1位を占め、次いで、「対外的に町の方が響きがいい」が14.2%、「村というイメージから脱皮」が8.8%と町制施行に対して肯定的な回答が全体の6割を占めました。

一方、「横越村という名前が好きだ」が19.3%、「昔からなじんでこの地にふさわしい」が7.0%と、村のままでもよいとする回答も全体の3割弱でありました。



今後のまちづくりに向けて重点的に取り組むべき分野については、ごみやし尿処理、公共交通機関、福祉などの充実が62.4%と最も多くを占め、道路・下水道・公園・市街地などの整備(26.3%)、教育・文化・スポーツの振興など9.7%の順となっています。



将来どのようなイメージのまちになることを望むかという問に対して、「便利で快適に暮らせるまち」(21.7%)、「健康で安心して暮らせるまち」(21.3%)が上位を占め、次いで、「農業と他の産業の調和のとれたまち」(18.5%)、「住民がふれあい豊かに暮らせるまち」(17.1%)、「教育文化スポーツの水準が高いまち」(9.1%)と続いています。

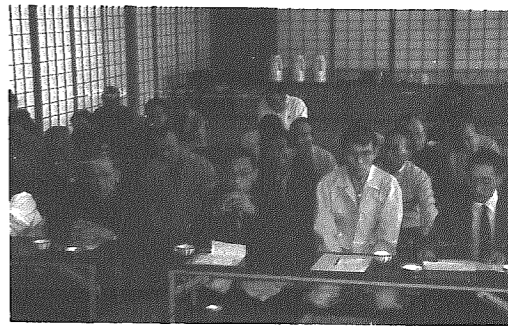
# 木津 二本木 地区で村政懇談会

十月二十九日木津農業構造改善センター(五十名参加)で、十一月十五日二本木公会堂(十七名参加)で、それぞれ村政懇談会が開催されました。

村からは村長はじめ各担当課長が出席し、次の内容についての質問や要望、意見交換が活発に行われました。

(木津地区)

・町制施行による利点と展望



木津地区村政懇談会

- ・降雨時の排水対策
- ・児童、生徒の通学路の早期実現
- ・小阿賀野川堤防の美化及び遊歩道建設と河川改修
- ・特養施設、老健施設、デイサービスセンター等老人福祉

(二本木地区)

- ・村道六二九号線の整備拡張
- ・県道、沢海・酒屋線の宅地側の排水溝の管理
- ・八幡神社前に住宅が密集してきたことによる防火体制
- ・二本木グランド整備費の増額
- ・防犯灯の設置



二本木地区村政懇談会

なお、民生委員は児童委員も兼ね、児童委員は県知事から委嘱されました。

横越	伊藤 光一	再任
岩橋	藤 御 夫	再任
片山	康 正 御	再任
神山	顯 正 吉	再任
石塚	正 夫 吉	再任
陸田	正 夫 吉	再任
澤村	温 子 俊	再任
坪谷	フ ク 子	再任
仲村	ヒ ロ ク	再任
原村	申 一 郎	再任
中山	志 枝 子	再任
山崎	澄 江	再任
川崎	澄 江	再任
藤田	富 美 夫	再任

## 新民生委員さまる

～心配ごとや悩みごと相談を～

社会奉仕に地道な活動を続けている民生委員の任期は、三年間となっており、このたび一斉改選が行われ、新しく次の十九名の方が厚生大臣より委嘱されました。

心配ごとや悩みごとをお持ちの方は、遠慮なく相談下さい。

横越	齊藤 昭夫	新任
武藤	藤 次 夫	新任
井上	作 次 夫	新任
市村	勲 次 夫	新任
澤井	益 雄 次 夫	新任
石井	千 尋 次 夫	新任
木津	洪 谷 千 尋	新任
二本木	波 谷 千 尋	新任

長い間、民生・児童委員として社会奉仕に尽力され、このたび次の三名の方々が退任されました。

本当にご苦労様でした。

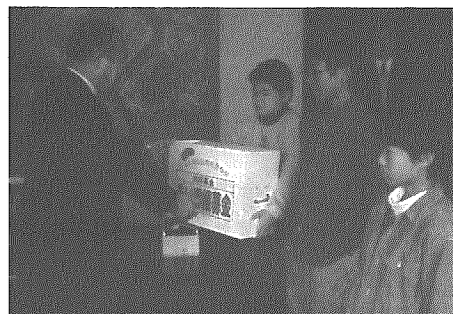
## 社会福祉に 商工会三団体より寄附



十月三十一日に横越村商工会青年部、婦人部、飲食店組合の三団体の代表が、第六回横越大祭の収益金の一部五四、八七七円を社会福祉に役立ててほしいと村長に手渡されました。

村では、この寄附金を村社会福祉協議会へ伝達しました。

## 横小児童の善意 村共同募金会へ



十月一日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。横越小学校では、企画委員が中心に取り組み、十一月十日に山崎先生引率のもと児童代表者三名が役場村長室を訪れ「困っている人達のために役立ててください」と村共同募金会に総額四九、三二八円の募金が手渡されました。

分会長である浅見村長から「本村でも数多くの恵まれませんが、困っている方がいますが、みなさんの善意はそのような方々のために役立たせていただきたいと思います」と感謝の気持ちが述べられました。